



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月30日

上場会社名 菊水ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6912 URL <https://kikusui-holdings.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 一夫
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 齋藤 士郎 TEL 045-482-6912
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	3,055	13.5	277	△10.5	363	△0.1	257	23.2
2025年3月期第1四半期	2,693	△5.4	310	△12.6	364	△7.2	208	△3.0

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 348百万円(91.8%) 2025年3月期第1四半期 181百万円(△40.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	30.96	—
2025年3月期第1四半期	25.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	17,101	13,970	81.7
2025年3月期	17,450	14,062	80.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 13,970百万円 2025年3月期 14,062百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	53.00	53.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	53.00	53.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,200	4.3	850	1.9	930	1.5	610	2.2	73.41
通期	13,500	0.5	2,050	2.6	2,150	1.3	1,450	0.7	174.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	9,900,000株	2025年3月期	9,900,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	1,590,719株	2025年3月期	1,590,719株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期1Q	8,309,281株	2025年3月期1Q	8,291,098株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲の重要な変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用・所得環境改善の動きが続く中、景気は緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、米国の関税政策、ウクライナや中東地域を巡る情勢不安、物価上昇の継続に加え、金融資本市場の変動、中国経済の停滞など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する電気計測器業界においては、世界各国でのカーボンニュートラル、SDGs達成に向けた取り組み等により、自動車関連市場や電池関連市場等において、また、AI(人工知能)の需要拡大に伴い、半導体関連市場やデータセンター関連市場等において設備投資の拡大が期待されておりますが、自動車のEV(電気自動車)シフトの減速懸念や世界経済の先行き不透明感の高まりにより、一部では設備投資抑制の動きも見られます。

このような状況の中、当社グループは、「パワーエレクトロニクス分野の評価及び測定ソリューション」をテーマとして、eモビリティ、次世代エネルギー、パワー半導体、データセンターの4つの市場を重点市場として、国内外の顧客ニーズに合わせたソリューションビジネスを積極的に展開し、展示会への出展やWebを活用した販売促進活動等を進めるなど売上拡大に努めるとともに、原価低減にも努力を重ねてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、GX(グリーントランスフォーメーション)関連市場、自動車関連市場、半導体関連市場及びデータセンター関連市場等の設備投資需要を取り込んだことにより、30億5千5百万円(前年同期比13.5%増)となりました。

損益面におきましては、海外製品の仕入コスト及びベースアップ等による人件費の増加等により、営業利益2億7千7百万円(前年同期比10.5%減)、経常利益3億6千3百万円(前年同期比0.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益2億5千7百万円(前年同期比23.2%増)となりました。

当社グループは、電気計測器等の製造、販売を行っているものであり、セグメントは単一であります。したがって、セグメントごとに経営成績の状況は開示しておりません。

なお、当社グループにおける営業品目の製品群別売上の概況は、次のとおりであります。

《電子計測器群》

電子計測器群では、航空用電子機器の測定器は、航空・防衛関連市場向けに好調に推移いたしました。安全関連試験機器は、EV(電気自動車)用バッテリーの耐電圧・絶縁抵抗試験用として電池関連市場向けに好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は7億9千6百万円(前年同期比13.0%増)となりました。

《電源機器群》

電源機器群では、直流電源は、宇宙産業市場、車載関連市場、エネルギー関連市場、半導体関連市場及び電子部品市場への評価試験や製造設備用として好調に推移いたしました。交流電源は、車載関連市場、エネルギー関連市場及びデータセンター関連市場への評価試験や製造設備用として好調に推移いたしました。電子負荷装置は、エネルギー関連市場及びデータセンター関連市場への評価試験用として動きが見られましたが低調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は21億4千7百万円(前年同期比15.1%増)となりました。

《修理・校正サービス等》

修理・校正サービス等につきましては、特記すべき事項はありません。

当該修理・校正サービス等の売上高は、1億1千1百万円(前年同期比9.2%減)となりました。

上記に含まれる海外市場の売上の概況は以下のとおりであります。

《海外市場》

米国では、宇宙産業市場及びAI関連市場への直流電源や電子負荷装置が好調に推移いたしました。

欧州では、航空宇宙関連市場への交流電源に動きがありましたが、全体的には低調に推移いたしました。

アジアにおいては、中国では、自動車関連市場の設備投資抑制の影響はあったものの、電池関連市場への安全関連試験器が好調に推移したことにより、前年同期を上回りました。また、韓国では、車載関連市場への直流電源が好調に推移し、東南アジアでは、データセンター関連市場への交流電源に動きが見られましたが、全体的には低調に推移いたしました。インドでは、車載関連市場及びIT関連市場への直流電源や交流電源が好調に推移いたしました。

以上の結果、海外売上高は12億7千2百万円(前年同期比12.4%増)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間における総資産は、生産活動等により商品及び製品並びに仕掛品が増加したものの、未払法人税等の納税及び配当金の支払い等による現金及び預金の減少並びに受取手形及び売掛金の回収等による減少により前連結会計年度末に比べ3億4千9百万円減少し、171億1百万円となりました。

負債は、納税による未払法人税等の減少並びに賞与及び役員賞与の支給等による賞与引当金及び役員賞与引当金が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ2億5千7百万円減少し、31億3千万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により増加したものの、利益剰余金から配当を実施したことにより、前連結会計年度末に比べ9千1百万円減少し、139億7千万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の予想につきましては、本資料の公表時点において、2025年5月15日に「2025年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

今後、業績予想において修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,716,583	4,176,426
受取手形及び売掛金	2,538,910	1,796,961
電子記録債権	597,753	812,470
商品及び製品	1,364,602	1,528,605
仕掛品	555,764	699,468
原材料及び貯蔵品	1,650,696	1,661,282
未収消費税等	38,586	101,888
その他	126,130	138,095
流動資産合計	11,589,028	10,915,199
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	416,588	405,284
土地	1,454,495	1,454,495
その他（純額）	445,419	426,093
有形固定資産合計	2,316,503	2,285,873
無形固定資産	55,139	175,234
投資その他の資産		
投資有価証券	2,099,518	2,277,899
その他	1,392,102	1,448,936
貸倒引当金	△2,015	△2,015
投資その他の資産合計	3,489,605	3,724,820
固定資産合計	5,861,248	6,185,928
資産合計	17,450,276	17,101,127
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	950,465	909,432
未払法人税等	528,592	146,739
賞与引当金	396,416	162,331
役員賞与引当金	104,900	—
製品保証引当金	11,062	11,184
その他	540,509	983,621
流動負債合計	2,531,945	2,213,309
固定負債		
退職給付に係る負債	12,847	13,109
その他	843,091	903,906
固定負債合計	855,939	917,016
負債合計	3,387,885	3,130,325

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,201,250	2,201,250
資本剰余金	2,831,425	2,831,425
利益剰余金	8,604,425	8,421,294
自己株式	△877,405	△877,405
株主資本合計	12,759,695	12,576,564
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	986,985	1,107,168
為替換算調整勘定	232,814	210,415
退職給付に係る調整累計額	82,895	76,652
その他の包括利益累計額合計	1,302,695	1,394,237
純資産合計	14,062,391	13,970,801
負債純資産合計	17,450,276	17,101,127

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)
売上高	2,693,046	3,055,451
売上原価	1,244,228	1,571,648
売上総利益	1,448,818	1,483,802
販売費及び一般管理費	1,138,521	1,205,937
営業利益	310,296	277,864
営業外収益		
受取利息	495	709
受取配当金	44,374	66,017
為替差益	5,488	7,520
その他	5,056	14,400
営業外収益合計	55,414	88,648
営業外費用		
支払利息	1,132	1,692
支払手数料	499	499
その他	44	800
営業外費用合計	1,677	2,992
経常利益	364,034	363,521
税金等調整前四半期純利益	364,034	363,521
法人税等	155,234	106,260
四半期純利益	208,799	257,260
親会社株主に帰属する四半期純利益	208,799	257,260

（四半期連結包括利益計算書）

（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
四半期純利益	208,799	257,260
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△98,402	120,182
為替換算調整勘定	74,672	△22,398
退職給付に係る調整額	△3,257	△6,242
その他の包括利益合計	△26,987	91,541
四半期包括利益	181,811	348,802
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	181,811	348,802
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲の重要な変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性に欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、電気計測器等の製造、販売を行っているものであり、セグメントは単一であるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	64,007千円	59,848千円